

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合（1年次）	単位数	2
授業形態	講義形式				
選んでほしい生徒	1年次生全員（必履修）				
科目の目標	世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する。課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する。歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。				
身に付けてほしい学力	歴史的事象をへて、人々の生活と社会の在り方が変化したことを扱い、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する力を、身に付ける。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 第1部 歴史の扉 第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 【2学期】 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【3学期】 第3章 グローバル化と私たち		・近現代の歴史の大きな変化と私たちの生活との関連性について学習する。 ・資料の適切な活用方法について学習する。 ・現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について学習する。 ・現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について学習する。 ・現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史について学習する。 ・学習したことをもとに考察・構想したことに対する説明の発表や議論などを行う。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・近現代史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ・諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・近現代史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決を視野に入れて構想したり、その考察や構想を基に議論したりすることができる。	・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、授業内の諸活動や取組姿勢、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	1 授業は、単元ごとに学習課題を提示し、その課題に関する教科書等の内容理解を深めて、最後にはその課題についてまとめる形式で進める。授業の内容理解を深めるために、授業プリントを活用し、授業中の話をメモするなど、自分なりに工夫して授業に取り組むこと。 2 定期考査は教科書や副教材に書いてあることだけでなく、授業内で学習したことが出題される。特に視覚的資料や授業内での諸活動を通して学んだことは考査前に振り返ると良い。 3 授業内の諸活動(議論や発表等)の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。				
教材費	補助教材：759円（税込）				
その他	特になし				

令和7年度 シラバス

教科名	公民	科目名	公共（2年次）		単位数	2
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	2年次生全員（必履修）					
科目の目標	よりよい社会の実現のために、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。					
身に付けてほしい学力	現代社会の諸課題解決のための概念や理論を学び、それを活用して事実を多面的・多角的に考察する力や議論する力を身に着ける。					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 第1部 公共の扉 第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法 【2学期】 第2部 よりよい社会の形成と参画 第2章 私たちの生活と政治 第3章 平和主義と日本 第4章 私たちの生活と経済 【3学期】 第2部 よりよい社会の形成と参画 第5章 私たちの生活と国際社会 第3部 持続可能な社会を創る			・高校生の自分と社会とのつながりを学ぶ。 ・社会の中のさまざまな法とその必要性について学ぶ。 ・日本の政治機構の仕組みを学び、主権者としての責任を自覚する。 ・経済活動の意義について学ぶ。 ・国際社会の一員として、持続可能な社会の形成のための行動について考える。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けている。		・現代社会の諸課題の解決に向けて必要となる考え方や原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に着けている。		・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ること、協力し合うことの大切さについての自覚を持っている。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、発表、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	1 授業中の活動に積極的に参加し、自分の考えをまとめ人の意見に耳を傾ける。 2 定期考査では、ワークノートの重要語句を覚え、意味を説明できるようになる。自分の意見を的確に述べるように心掛ける。					
教材費	補助教材 私たちの公共 ワークノート 759円（税込） テーマ別資料 公共2025 950円（税込） Workbook of Public 2025 450円（税込）					
その他	特に無し					

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究（2年次）		単位数	2
授業形態	講義形式、問題演習					
選んでほしい生徒	四年制大学への進学を希望する文理コースの生徒					
科目の目標	「歴史総合」の学習を踏まえ、世界の歴史の大きな枠組みと展開について理解を深め、地球世界の課題とその展望を探究する力を養う。					
身に付けてほしい学力	1 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力 2 大学入学共通テストに対応できる学力 3 四年制大学の一般入試に対応できる学力					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 【2学期】 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【3学期】 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国			・地球環境と人類の歴史との関わりや、身の回りの事象と世界の歴史との関わりを考察し、世界の歴史を学習することの意味や意義を理解する。 ・歴史的に形成された諸地域の多様性、諸地域の複合的なつながり、諸地域の構造的な連関性という点から諸資料を活用して読み解き、世界の歴史の大きな枠組みと展開に対する理解を深める。 ・「地球世界の課題」の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に探究し、よりよい社会を展望する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決を視野に入れて構想したり、その考察や構想を基に議論したりすることができる。		・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業内の諸活動や取組姿勢、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	1 授業は、単元ごとの学習課題について理解を深め、単元の最後にその課題についてまとめる形式で進めるので、授業プリントをきちんと取り組む。 2 定期考査は教科書や副教材に書いてあることだけでなく、授業内で学習したことが出題されるため、授業中の先生の話なども、メモしておいて、考査前に見直すといよ。 3 授業内の諸活動(議論や発表等)の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。					
教材費	ニューステージ世界史詳覧：990 円（税込）					
その他	特になし					

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理総合（3年次）		単位数	2
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	3年次生全員（必修）					
科目の目標	社会事象の地理的な見方・考え方を身に付け、グローバル化する国際社会の平和で民主的な国家の形成者となる資質・能力を育成する。					
身に付けてほしい学力	自然環境と人間の営みの関わりについて理解し、自他の文化を尊重したりする力。また、地図や地理情報システムを活用して、地球規模の課題や地域の自然災害への対策を考える力。					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 第1部 地図や地理情報システムでとらえる現代社会 1章 地図や地理情報システムと現代社会 2章 結びつき深める現代社会 【2学期】 第2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 2章 地球的課題と国際協力 【3学期】 第3部 持続可能な地域づくりと私たち			・日常生活における地理情報システムの活用について学ぶ。 ・現代社会における他国との結びつきを学ぶ。 ・世界の地形や気候の違いや、それによる生活文化の違いについて学ぶ。 ・環境問題やエネルギー問題などの諸課題について考える。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・世界の生活文化の多様性や、防災、地球的課題への取組を理解している。 ・地図や地理情報システムなどを活用し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。		・地理に関わる事象の意味や意義を、位置や分布、場所、人間と自然環境との関わりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を身に付けている。		・よりよい社会の実現のために、現代社会の課題を解決しようとする態度を身に付けている。 ・日本についての理解を深め、世界の諸地域の多様な文化を尊重することの大切さを自覚している。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、発表、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	1 授業中の活動に積極的に参加し、教科書をしっかり読んで復習しましょう。 2 地図帳を活用して、地名と場所を確認しながら学習しましょう。 3 定期考査では、ノートに書いた重要語句を覚え、ワークブックを丁寧に解きましょう。					
教材費	補助教材 高校生の地理総合ノート 660円（税込） 地理総合・探究ワークブック2025 600円（税込）					
その他	特になし					

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	世界史研究		単位数	2
授業形態	講義形式、問題演習、対話型鑑賞					
選んでほしい生徒	世界史に対して興味・関心をもち、理解をさらに深める意欲をもつ人。また、将来の専門的教育や進路のために、世界史の教養が必要と考える人。					
科目の目標	諸資料から歴史的事象を読み取り、有用な情報を選択し、地理的条件や諸地域との関連を確認しながら問題演習や対話を通し、多面的・多角的な歴史観を身に付けさせる。					
身に付けてほしい学力	1 大学入学共通テストに対応できる学力 2 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力・判断力・表現力 3 世界の人々との文化理解や平和に貢献する態度					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 ・先史・古代 ・中世			・原始から中世にかけての世界の歴史について、映画や絵画などの視覚資料を通して文化や政治・外交史を学習する。		
	【2学期】 ・近世・近代 ・現代 ・研究Ⅰ			・2つの大戦後の世界で残されている現代社会の課題について考察し、それらを解決する立場で現代世界を理解する。		
	【3学期】 ・研究Ⅱ			・学習した中で、一番興味・関心のあったテーマについてレポートを作成させる。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		・世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、資料中に示された歴史的な課題の解決を視野に入れて構想したり、その考察や構想を基に議論したりすることができる。		・資料から世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について主体的に読み解くとともに、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	1 歴史総合の内容を理解し、知識を定着しておくことが望ましい。しっかりと既習事項の定着を図ろう。 2 私たちの身近なものも、歴史とは無関係ではありません。身近なものの歴史に興味・関心をもつことが、学習効果を高めることに繋がります。					
教材費	岩波ジュニア新書「世界史映画教室」 学校より貸し出し					
その他						

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究（3年次）		単位数	3
授業形態	講義形式、問題演習					
選んでほしい生徒	四年制大学への進学を希望する文理コースの生徒					
科目の目標	「歴史総合」の学習を踏まえ、世界の歴史の大きな枠組みと展開について理解を深め、地球世界の課題とその展望を探究する力を養う。					
身に付けてほしい学力	1 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力 2 大学入学共通テストに対応できる学力 3 四年制大学の一般入試に対応できる学力					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と環大西洋革命 【2学期】 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 第18章 冷戦と第三世界の台頭 【3学期】 第19章 冷戦の終結と今日の世界			・地球環境と人類の歴史との関わりや、身の回りの事象と世界の歴史との関わりを考察し、世界の歴史を学習することの意味や意義を理解する。 ・歴史的に形成された諸地域の多様性、諸地域の複合的なつながり、諸地域の構造的な連関性という点から諸資料を活用して読み解き、世界の歴史の大きな枠組みと展開に対する理解を深める。 ・「地球世界の課題」の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に探究し、よりよい社会を展望する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決を視野に入れて構想したり、その考察や構想を基に議論したりすることができる。		・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業内の諸活動や取組姿勢、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	1 授業は、単元ごとの学習課題について理解を深め、単元の最後にその課題についてまとめる形式で進めるので、授業プリントをきちんと取り組む。 2 定期考査は教科書や副教材に書いてあることだけでなく、授業内で学習したことが出題されるため、授業中の先生の話なども、メモしておいて、考査前に見直すとい。 3 授業内の諸活動（議論や発表等）の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。					
教材費	ニューステージ世界史詳覧：970 円（税込）（2年次に購入済み）					
その他	特になし					

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究（2年次）	単位数	2
授業形態	講義形式、問題演習				
選んでほしい生徒	四年制大学への進学を希望する文理コースの生徒				
科目の目標	日本国の歴史について、その時代的背景としての政治、経済、社会、文化、対外関係などを総合的に理解させ、それに基づく歴史的思考力と探究する力を育成する。				
身に付けてほしい学力	1 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力 2 大学入学共通テストに対応できる学力 3 四年制大学の一般入試に対応できる学力				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 ・日本文化のあけぼの ・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開		・旧石器時代から平安時代末での日本列島における政治・社会・文化等について周辺諸国の動向と関連付けながら学習する。		
	【2学期】 ・院政と武士の躍進 ・武家社会の成長 ・近世の幕開け		・院政の始まりから鎌倉期、室町・戦国期を経て、織豊政権、続く徳川政権の成立過程を中心に総合的に学習する。		
	【3学期】 ・幕藩体制成立と展開		・近世中期以降、明治新政府の誕生から20世紀初頭までの日本の歴史を概観し、政治・外交史を中心に学習する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・日本の歴史についての基本的事項を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の歴史に関する諸資料を収集し、活用することで、歴史的な事象を追求する方法を身に付けている。	・日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化に着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の歴史の画期を見だし、根拠を示して表現している。	・日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に追及するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる態度を身に付け、探究しようとしている。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 予習・復習を確実にする。あらかじめ学習内容を把握して授業に臨むことにより、理解度は確実にあがる。また、ノートや配布プリント、問題集などを活用し、しっかりと復習し既習事項の定着を図ろう。 2 身近な地域の歴史にも興味・関心を持とう。自分の住む地域や北条高校周辺の歴史を知ることにより、より一層日本史が身近なものと感じることができる。例えば古墳や寺社、城址、または博物館などを訪れてみるとよいでしょう。 3 授業内の諸活動（議論や発表等）の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。				
教材費	問題集 590 円（税込）・資料集 906 円（税込）				
その他	国際化、多様化が進む現代社会において、自国の歴史・文化を世界史的な視野に立って理解することの重要性は一層高まっています。異文化を理解する前に、日本の歴史を学びましょう。				

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究（3年次）	単位数	3
授業形態	講義形式、問題演習				
選んでほしい生徒	四年制大学への進学を希望する文理コースの生徒				
科目の目標	日本国の歴史について、その時代的背景としての政治、経済、社会、文化、対外関係などを総合的に理解させ、それに基づく歴史的思考力と探究する力を育成する。				
身に付けてほしい学力	1 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力 2 大学入学共通テストに対応できる学力 3 四年制大学の一般入試に対応できる学力				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 ・幕藩体制の動揺 ・近世から近代へ ・近代国家の成立 ・近代国家の成立 ・近代国家の展開 【2学期】 ・近代の産業と生活 ・恐慌と第一次世界大戦 ・占領下の日本 【3学期】 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本		・徳川政権の成立過程を中心に総合的に学習する。 ・近世中期以降、明治新政府の誕生から20世紀初頭までの日本の歴史を概観し、政治・外交史を中心に学習する。 ・2つの世界大戦を中心に国際社会の影響を受け、諸外国に翻弄される日本の政治・社会について学習する。 ・戦後日本の経済発展と冷戦という世界情勢の中の日本国の状況を中心に学習する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・日本の歴史についての基本的事項を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の歴史に関する諸資料を収集し、活用することで、歴史的事象を追求する方法を身に付けている。	・日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化に着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の歴史の画期を見だし、根拠を示して表現している。	・日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に追及するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる態度を身に付け、探究しようとしている。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 予習・復習を確実にする。あらかじめ学習内容を把握して授業に臨むことにより、理解度は確実にあがる。また、ノートや配布プリント、問題集などを活用し、しっかりと復習し既習事項の定着を図ろう。 2 身近な地域の歴史にも興味・関心を持とう。自分の住む地域や北条高校周辺の歴史を知ることにより、より一層日本史が身近なものと感じることができる。例えば古墳や寺社、城址、または博物館などを訪れてみるとよいでしょう。 3 授業内の諸活動（議論や発表等）の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。				
教材費	問題集 590 円（税込）・資料集 906 円（税込）				
その他	国際化、多様化が進む現代社会において、自国の歴史・文化を世界史的な視野に立って理解することの重要性は一層高まっています。異文化を理解する前に、日本の歴史を学びましょう。				

令和7年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	日本史研究（3年次）	単位数	2
授業形態	講義形式、問題演習				
選んでほしい生徒	2年次において日本史探究を履修した生徒で、さらに愛媛の歴史を理解し、ふるさと愛媛への誇りと愛着心を育みたい生徒。また、愛媛の歴史を日本史全体の流れの中に位置付けることにより、多面的な歴史観を身に付けたい生徒。				
科目の目標	愛媛の歴史と日本の歴史を総合的に学習し、問題演習を重ねることにより、多面的な歴史観を身に付けさせる。				
身に付けてほしい学力	1 大学入学共通テストに対応できる学力 2 総合研究に対応できる学力 3 日本史の流れの中での愛媛についての歴史的素養や思考力				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 ・原始・古代 ・中世 ・近世		・原始から中世までの日本の歴史を概観し、政治・外交史を中心に学習する。		
	【2学期】 ・近代・現代 ・研究Ⅰ		・2つの世界大戦を中心に国際社会の影響を受け、諸外国に翻弄される日本そして愛媛の政治・社会について学習する。		
	【3学期】 ・研究Ⅱ		・学習した中で、一番興味・関心のあったテーマについてレポートを作成させる。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・日本・愛媛の歴史についての基本的事項を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。	・日本・愛媛の歴史の展開から課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察できる。また、その過程や結果を適切に表現している。	・日本・愛媛の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追求する方法を身に付けることで主体的に生きる態度を身に付け、探究しようとしている。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 日本史探究（2年次）の内容を理解し、知識を定着しておくことが望ましい。少しずつでいいので問題演習を自分で進めていってほしい。 2 日本史探究（2年次）同様、身近な地域の歴史にも興味・関心を持とう。自分の住む地域や北条高校周辺の歴史を知ることにより、より一層日本史が身近なものと感じることができる。例えば古墳や寺社、城址、または博物館などを訪れてみるとよい。				
教材費	高校生のための「愛媛県史」学習資料集 学校より貸し出し				
その他	2単位の授業				

令和7年度 シラバス

教科名	公民	科目名	政治・経済（3年次）		単位数	3
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	1 政治・経済で大学受験を希望する生徒。 2 法学・経済系学部への進学を希望する者など、政治・経済に強い関心のある生徒。					
科目の目標	社会人として必要な政治・経済・国際関係についての基礎的な知識を学習し、現代の諸課題を多角的に考え、主体的に生きる力を養う。					
身に付けてほしい学力	1 政治経済、国際社会の諸課題についての基礎的な知識を得ること。 2 時事問題に関心をもち、多角的に考察しながら、それらに対する自らの考えを適切に表現することができる力。					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 1 現代政治のしくみと日本 2 現代経済のしくみと日本 【2学期】 3 現代日本の諸課題 4 現代の国際社会と政治 5 現代の国際社会と経済 【3学期】 6 国際社会の諸課題			・教科書にそって現代経済の基礎的な知識を学習する。 ・資料集や新聞記事などを使用し、時事問題について学習する。 ・ディスカッションやレポートを通じ、現代の諸課題についての考え方を深める。		
評価の観点・ 評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解している ・諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる		・社会の在り方に関する見方・考え方ははたらかせ現実社会の諸課題の解決策を広い視野で構想し、それを表現して他者に伝え意見を取りまとめて合意を形成していくことができる		・政治、法、経済などに関する基本的な概念や理論、考え方を新たに獲得したり、公民として現代の政治、経済、国際関係の動向や本質に関わる諸課題を追究したり解決に向けて主体的に構想している	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。					
学習の アドバイス	1 新聞を読んだり、ニュースを見たりして時事問題に関心を持つ。 2 気になる時事問題を深く掘り下げて調べてみる。					
教材費	ワークノート 759円（税込）					
その他						